Ex-1 Linear Fingering 1本弦上フル・ピッキングのクラシカル基本

●あまりにも有名なクラシカル・ライン。右手と左手のタイミング向上を第一に掲げ、最初はゆっくり1ポジションで→スピード・アップ・他のポジションへ移動…という具合に、段階を踏むのが賢明だ。

小人中小中人小人中小中人小人中小中人小人薬小薬人　小人中小中人小人中小中人小人中小中人小人薬小薬人　小人中小中人小人中人中人薬

Ex-2 Scale Based Line マイナー・スケールのインペリテリ・パターン1

●下降の時、3弦上でポジションを移動（2小節目2拍）するところが、クリス式フィンガリングの奥義（図1参照）。ピッキングは[■→V]をリズム通りに繰り返すオルタネイト。

薬薬　薬　薬薬　薬薬　人小　中人中小人薬　小薬人小中人小中人小薬人小中人小中人小薬人小中人　小中人小中人小中人小中人薬薬

Ex-3 Scale Based Line マイナー・スケールのインペリテリ・パターン2

●前半の出だしはEx-2と殆ど同じ、これまたクリス得意のフィンガリング。ここでも3弦上の移動（1小節目3～4拍）がポイントだ。また、2小節目1拍の3弦9f、2拍の4弦14fが同じE音だという点も面白い。

人中小　人薬小薬人小中人小中人小薬人小中　人小中人小中人小中人中小人中小人　中小人中小人中小人

「速くても1つ1つの音を明確にするにはオルタネイトでゆっくりと始めるべきだね」

スピードの権化、クリス・インペリテリに特別付録DVD企画に登場して戴くべくオファーをプロモーション来日時に出したところ、何事にも完全無欠を期する性格の彼は、「家に帰って自分で撮る」。そして送られて来たのが、今回収録した映像である。当然、コンテンツや撮影時のカメラ・アングル、あるいはスロー・テンポも欲しい…云々の希望に関しては事前にミーティングしたが、しかし、ミュージシャンがここまで自ら

正確で強力なピッキングを意識せよ!

「僕はよく雑誌に載る著名なギタリストの記事を読むんだけど、速弾き系の人は右手に問題を抱えている事が多いようだね。[ピッキング]はプレイ全般を左右する訳だから、当然かもしれないけど。でも、アル・ディメオラのプレイからオルタネイト（■&Vをリズム通り繰り返すピッキング）を学んだ僕は、以後、それに

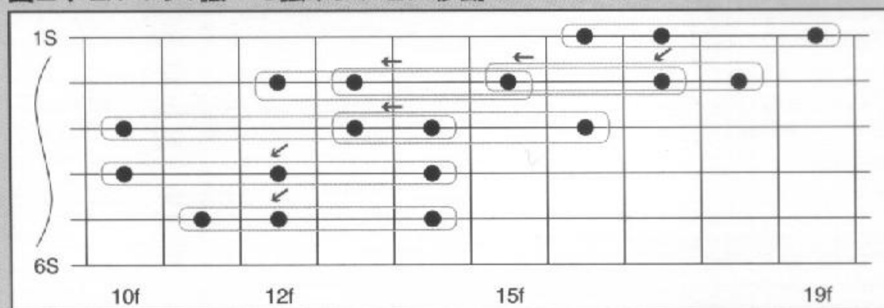
図1◆Ex-2＆Ex-3の1弦→4弦

1S
6S
Ex-2 / 11f　14f　17f
Ex-3 / 9f　12f　15f

Ex-4 Scale Based Line ハーモニック・マイナーのインペリテリ・パターン

●1小節目から2小節目に掛けての2弦上移動（18f→17f→15f／17f→15f→13f／15f→13f→12fの3ポジション：図2参照）がクリスならでは。同時にここが、攻略のポイントになる。

図2◆Ex-4の1弦→5弦ポジション移動



Ex-5 Pentatonic ペンタトニック系のスライド導入アプローチ

●フレーズの基になっているのは図3に示したペンタトニック・ポジションと周辺エリア。そこで［1弦15f→19f…］［3弦12f→16f…］の大スライドを際立たせたパターンだ。

図3◆Ex-5の基になるペンタトニック・ポジション

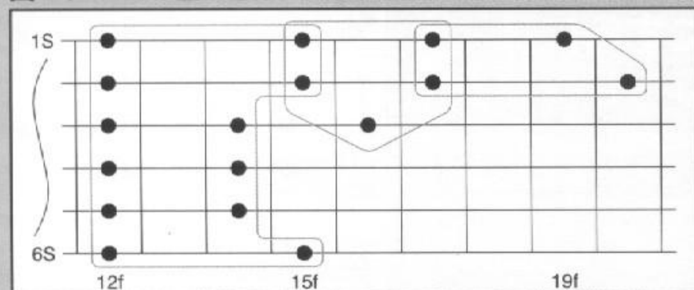
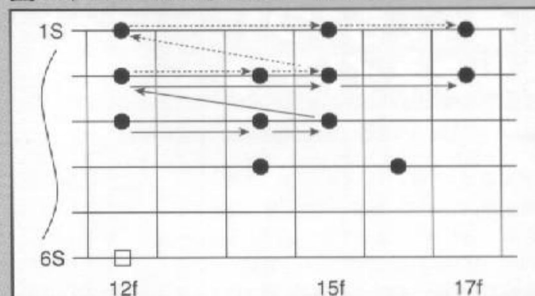


図4◆Ex-6のストレッチ・ライン



Ex-6 Stretching ストレッチを含むブルース系ボックスド・タイプ

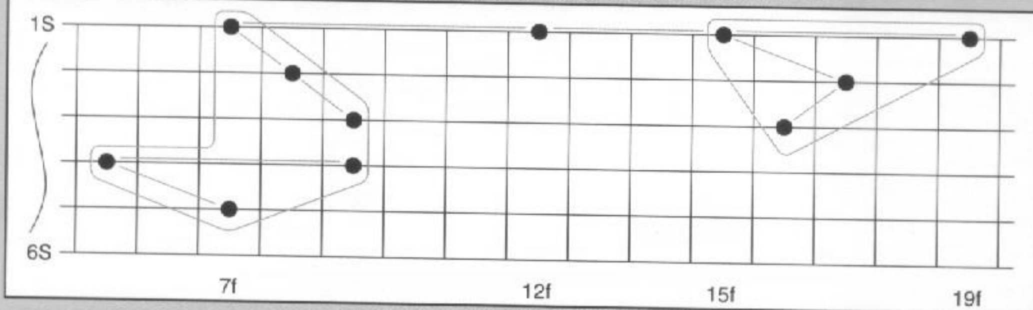
●1小節目3〜4拍の3弦→2弦、2小節目最初の2弦→1弦は、どちらも［12f→14f→15f／12f→15f→17f］だという組み立てがミソ（図4参照：実線と点線で示した2つの動き）。



Ex-7 Arpeggio 瞬間リニア移動のEマイナー・アルペジオ

●1小節目は総てダウン、2小節目はオルタネイトでピッキング。後半は、小指で移動先のポジションをいち早く正確に捕らえるのが、何よりも大事。ここに総てが掛かっている。

図5◆Ex-7のアルペジオ・リニア移動



Ex-8 Arpeggio クラシカルなコード進行を追うアルペジオ

●マイナー型→メジャー型→ディミニッシュ型→マイナー型…という動きのアルペジオ。一般的にはスウィープを使う事が多いパターンだが、クリスはオルタネイトでピッキングしている。これが彼らしさ！

Ex-9 Arpeggio ブルース・タイプの7th系コード・アルペジオ

●コードは[F#7]。メジャー3rd音（3弦15f／1弦18f）、7th音（2弦17f）によって、ブルージーなサウンドを醸し出すアルペジオ。コードを一度鳴らしてから弾いた方が、音の個性はよく分かる。



図7◆Ex-9の現代的7th系アルペジオ

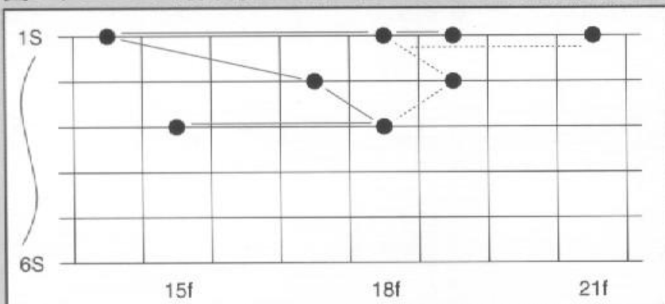
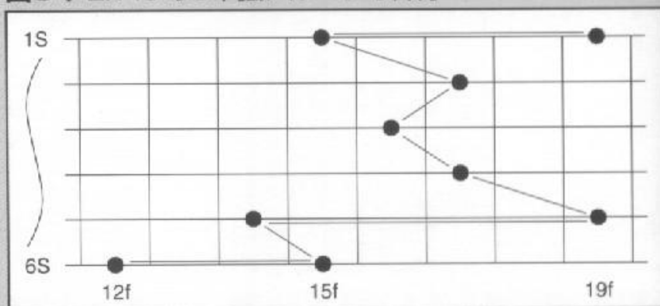


図8◆Ex-10の6本弦アルペジオ部分



Ex-10 Arpeggio 6本弦フル使用の大アルペジオ

●低音弦側から高音弦側に弾く時は、ダウンの連続…だが、映像を見れば分かる通り、スウィープではない。あくまでも1音ずつ弾く、そんな感じ。逆の高音弦側から低音弦側に弾く時は、ピッキングしない。





Ex-11 Legato Fingering ♭5th含みのペンタトニック・レガート

●ペンタトニック・スケールに経過音の[♭5th(5弦6f/3弦8f/1弦11f)]を加え、超ストレッチに展開したコンテンポラリーなパターン。図9でまず、視覚的にポジションを整理する事が第一歩だ。

図9◆Ex-11の3ポジション移動

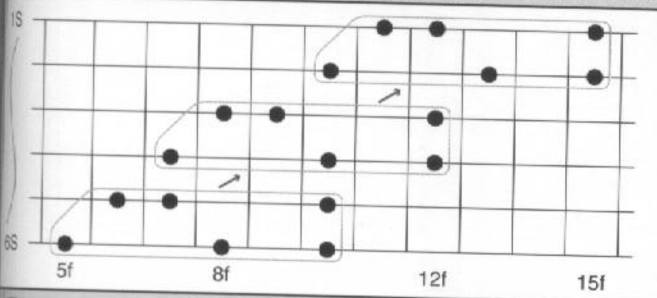
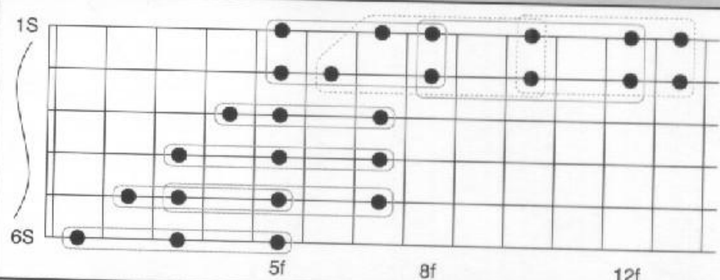


図10◆Ex-12のマイナー大移動



Ex-12 Legato Fingering レガートな基本的マイナー・スケール

●かなり派手な動きだが、要はAマイナー・スケール。その響きに注意していれば、間違える事は少ないはずだ。左手は、特に低音弦での連続プリングに要注意。ツブ揃いのレガート音を生むポイントはここ！

Ex-13 Boxed Line ブルース系ボックスド・ライン

●コードは[F#7]。♭5th音(3弦17f)、メジャー3rd音(3弦15f/5弦13f)の位置と響きを憶えておくのは、ギタリストとしてMUST！